

## 10103農業保存食料品製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	10~11	加工場にて、製造品であるカップ上面にラップを貼る機械の調整中、ラップが少したわんでいたため、製品排出口より手を入れ、そのラップを引っ張ろうとしたところ、ラップを切り離しているカット刃に左手指が接触した。	40	8	169	50 ～ 99
2	2017	12	8~9	朝、自転車で工場に到着後、敷地内にある駐輪スペースで、自転車から降りて玄関に向かう途中、同じ駐車場スペースで躓いて転び、膝をコンクリートで強打して膝蓋骨を骨折した。	52	2	417	30 ～ 49
3	2017	12	11~12	作業中、階段を降りようとして振り返った際、エプロンの裾を踏んでしまい、階段の1段目から転落し、右膝を負傷した。	52	1	413	100 ～ 299
4	2017	12	15~16	当社第二工場内で同僚と2人で解凍作業中、解凍したエビの入ったステンレス製の籠を引き上げた際、同籠が作業衣であるエプロンに触れめくれ上り、同部から籠に付着した熱湯が右長靴に入ったため、慌てて靴下を脱いだところ、右足甲部の皮膚が剥がれてしまった。	27	11	715	100 ～ 299
5	2017	12	10~11	工場では箱詰出荷の作業中に、15kg程の荷物を持ちあげ、梱包用バンド機に移動させる際、ぎっくり腰になった。	33	19	921	50 ～ 99
6	2017	12	17~18	工場内で、年末の大掃除をしている時、エアコンヒーターの水拭きをしようとして、ヒーターの羽根を停止させないまま作業	59	7	391	30 ～

				を行い、右腕が回っている羽根にぶつかり負傷した。				49
7	2017	12	9~10	包装室内にて、添加液を入れたビーカーを持って移動中、取り除き漏れた野菜片が床にあったが、気付かずに踏んでしまい、滑って転倒し負傷した。	41	2	417	100 ~ 299
8	2017	12	7~8	駐車場のアスファルトが凍結していた為、車から下りた際に足を滑らせた。その時に手をついて手首を負傷した。	71	2	719	10 ~ 29
9	2017	12	19~20	冷凍食品部凍結工程Aラインから管理室に戻るためフリーザー横の階段を降下中に足を滑らせ転倒し、右脇腹辺りを強打し負傷した。	62	2	413	100 ~ 299
10	2017	11	14~ 15	竹林の中で枯竹の処理作業中に、足場の悪い急斜面を枯竹を抱えて移動中に、持っていた枯竹の枝がはじかれ目に当たった。	58	6	712	1~ 9
11	2017	11	15~ 16	事業場内の加工室でほうれん草を投入する作業をしようとした際、側溝の蓋が外してあることに気付かず側溝に足が入り、バランスを崩して手をついてしまい右手人差し指を負傷した。当日はそのまま勤務したが、痛みがひかず翌日受診した。	63	2	418	30 ~ 49
12	2017	11	9~ 10	凍結した魚の脱パン作業中に足場に足を掛けていたが、方向転換の際に足場を入れ替えようとしたところ、足場を踏み外して受傷した。	50	1	411	50 ~ 99
13	2017	11	9~ 10	被災者は、みかんの内皮を薬品で処理を行う、薬品処理の担当で、薬品処理室で作業を行っていた。みかん製造時は、地下よりベルトコンベアで内皮がついたみかんが薬品処理室に送られてくる。この地下から送るためのベルトコンベアは緩みが生じると、機械が停止してしまうため、通常より1日数回、ベルトコンベアの張り具合を確認していた。被災者はこの張り具合を確認していた際に、誤ってベルトコンベアに巻き込まれ右腕を負傷した。	55	7	224	50 ~ 99

14	2017	11	16～ 17	高さ約110cmのタンクの清掃を行おうと、設置している階段（下から1段目か2段目）を踏み外し、右胸を階段の縁で打った。	72	2	413	30 ～ 49
15	2017	11	18～ 19	工場内で緋のかぶらをスライサーでカットする作業中、本人が緋のかぶらをベルトに投入していたところ、かぶらが詰まったので押し込もうと、機械を停止させずに、手を入れてしまった為、右手中指に裂傷を負った。	53	8	169	10 ～ 29
16	2017	11	18～ 19	屋外にある洗浄用の水槽をスプレーガンを使用し清掃作業中、他の作業者に協力を依頼されたため水槽そばを移動したことから水道ホースに躓き転倒し、右膝を地面で強打した。	67	2	379	100 ～ 299
17	2017	11	15～ 16	工場にて、午後に10分与えられる休憩中、加工場の外へ出て、2階にあるトイレに行き、給茶器のお茶を飲んで水分を補給した後、加工場に戻るために、階段を下りていた際、足を踏み外して左膝を床で打ち、骨折したものである。	67	1	413	30 ～ 49
18	2017	11	17～ 18	当社事業場内において使用しなくなった機械を台車に載せて同僚と運搬していた。外部シャッターの内側で台車から機械を降ろす際に、機械の脚の下に自分の右足が入ってしまい、そのまま右足親指の上に機械の脚を降ろしてしまった為、同部位を負傷したものである。	56	7	612	30 ～ 49
19	2017	11	15～ 16	駐車場内にてトラックの荷台よりパワーゲートを使用してカーゴの搬出を行っていたところ、勾配のある場所にて作業を行ったためストッパーを外した途端に勢いがついてカーゴが下がって来たため、左足で止めたところ、負傷したものである。	20	8	165	1～ 9
20	2017	11	11～ 12	工場1階のユニフォーム仕上げ場で作業中、置かれた製品を出荷台車に積み込む際、慌てて、ロットの仕切りに使用する布に乗ってしまい、足を滑らせ転倒した。転倒した時に右足首を捻ってしまった。	49	8	165	10 ～ 29
				被災労働者は、当社工場内にて、野菜カット作業中、ハウレン				

21	2017	11	11~ 12	草をラインに流していたところ、ホウレン草が大量に流れたためカッターの所で詰まってしまい、それを取り除くため左手をカッター付近に入れたところ、機械の停止スイッチを押していなかったため、カッターが動き、誤って左手中指を受傷したものである。	27	7	165	10 ~ 29
22	2017	11	15~ 16	片手に手提げとファイルを持ち、第二工場の階段を下りている時、バランスを崩し、手すりに掴まったが身体を支えきれず転倒した。階下に転がり落ちて（10段位）、頭と腰や背中を打った。	44	1	413	100 ~ 299
23	2017	11	8~9	前日の雪のため出勤時に現場敷地内の駐車場で滑り後ろへ転倒し、左肘を骨折した。	43	2	719	10 ~ 29
24	2017	10	9~ 10	高菜の手洗い洗浄作業中に気分が悪くなり持ち場を離れようとしたが、意識を失い転倒。顔面を床に強打し、右頬を骨折した。	22	2	417	100 ~ 299
25	2017	10	10~ 11	缶詰製造工場の18号缶製造ラインに従事し、冷却作業を行っていた。冷却曹の通路（長さ5m、幅40cm）にいた時、殺菌冷却曹側を向き、かがみ込んだ時、後方の産業ロボットの防御フェンスにお尻部分を接触し押される形で冷却曹に転落し回転するローラーに右足を挟んだことにより右足のつま先部を骨折した。	48	1	416	100 ~ 299
26	2017	10	16~ 17	二連梱包ラインにて、パレットを動かそうと持ち上げずらしていたところ、誤って右足の上に落としてしまい受傷した。	21	4	379	100 ~ 299
27	2017	10	9~ 10	クリーンルームでキャベツのスライサーを使って作業をしていたところ、スライサーが止まったので、本来は電源を切るべきところを忘れてしまった。その際、右手をスライサーに入れた時に動いた刃物に右手中指が触れて切創し、4針の縫合治療を受	51	8	165	50 ~ 99

				けた。				
28	2017	10	15～ 16	事業所工場内に於いて、折り曲げた状態の脚立に乗って天井を雑巾を使って一人で掃除していた際、途中でバランスを崩して脚立が倒れてしまい、地面に落下し負傷してしまったもの。	57	1	371	1～ 9
29	2017	10	20～ 21	工場内包装ラインエリアにて、歩行中に足が滑り、転倒した際に左腕を床につき、左橈骨を骨折してしまった。包装作業が終わり水かき清掃をする前の出来事で床が濡れていて滑りやすかった。	66	2	417	100 ～ 299
30	2017	10	13～ 14	会社野菜加工場において、ケースを洗い終わった後の水槽（70cm×50cm×41cm）の水を斜めにして排水溝に向けて捨てる作業中、手が滑って水槽を左足に落として負傷した。早退し、怪我の状態をみていたところ、足が腫れて痛みがあった。	51	4	391	30 ～ 49
31	2017	10	17～ 18	被災者は退社時間になったので、帰宅準備のため、工場建物内の作業場所から手洗い場を通り、ロッカールームに向かって歩いていた。手洗い場とロッカールームの間には、エントランス空間があり、引き戸で仕切られている。手洗い場を通り、引き戸を左手で開け、エントランス空間に出ようとしたところ、引き戸の下、5ミリ程の高さのレールに、右足のつま先を引っ掛け、前のめりに転倒。顔面と左手首をコンクリートの床にぶつけて負傷した。負傷直後は痛みをさほど意識していなく、大丈夫だと思ったが、帰宅後、しばらくして腫れと痛みが出た。	72	2	417	50 ～ 99
32	2017	9	14～ 15	工場内で、釜から10kgの材料が入ったダンボールを冷却装置に運び、空のダンボールを持って、再び釜のところへ行く作業を繰り返し行っており、空のダンボールを3つ抱えて釜のところへ戻る際、通路上にあったコンテナにつまずき、前方に転倒し、右半身から床に落ち負傷した。	50	2	611	10 ～ 29
			11～	会社所有の畑で、高菜の廃棄作業をしていた際につまずいて左				30

33	2017	9	12	足をひねり、左足甲から指先を骨折した。	61	2	719	～ 49
34	2017	9	8～9	工場の中から外に出る時、中から50cmの高さから外にジャンプしたさい、下の鉄板の端に足をついた所、足半分が鉄板の端ののってしまいそのままひねって転んだ。	42	19	417	50 ～ 99
35	2017	9	14～ 15	A棟充填作業室でカップ容器にフタをする作業中、シール機ローター部分で容器が停止した為、とっさに手を入れてしまい、センサーが反応し左手の中指指先をシール機で切ったものである。	52	8	169	—
36	2017	9	11～ 12	ポコットチーズ包装機の台紙装置の動きが悪く、設備保全担当である作業員と2名で修理作業をしていた、装置の確認をするため、駆動部カバーを外していた、途中、作業員Aが別の装置の機械の調子が悪いと呼ばれ、その場を離れた、作業員Bは、トイレへ行き、戻ってきてから作業を再開したが、それよりも早くに作業員Aが走ってきており、包装機の下に滑って作業していた、作業員Bは、作業員Aの存在に気付かず、スタートボタンを押してしまったため、作業員Aの右手人差し指の先端が駆動部のチェーンに挟まり、裂傷したものである。	25	7	165	500 ～ 999
37	2017	9	11～ 12	工場内にて作業中、お茶の合組機のチェーン部分から異音が聞こえたため、状況を確認しようとした際、誤って右手の人差し指の先端（つめの部分）をチェーンに挟み込んでしまった。	19	7	121	50 ～ 99
38	2017	9	6～7	工場内にて、1t水槽を起こして洗浄し、元にもどした際に、左足に水槽を落とした。	47	4	391	100 ～ 299
			9～	当社製造野沢菜の塩漬けをコンテナ詰めをして（1コンテナ25袋30kg）をパレットに24コンテナ積み合わせ、ビニールラップでくずれないようにしばり、リフトにてトラック荷台に積み込みジョルダーを使用して移動400コンテナを積み込む、荷台の				10



44	2017	8	17～ 18	工場内を歩行中、野菜くずを踏み、滑って転倒した際に左手首を負傷した。	32	2	416	50 ～ 99
45	2017	8	10～ 11	工場内において、高さ180cm位のストックコンベアの箇所をきれいにし、降りるため右足をステンレス製のカバー部分にのせようとしたとき、滑ってしまい、右脇腹部を強打し負傷した。	50	1	224	30 ～ 49
46	2017	8	15～ 16	作業中、木製パレットが右足小指に落ち、骨折した。	63	7	222	1～ 9
47	2017	8	14～ 15	工場内において、中二階の床の清掃作業後、脚立から降りようとしたところ、脚立のネジが外れ、2mの高さから転落して負傷した。	41	1	371	50 ～ 99
48	2017	8	8～9	当社工場内、冷凍冷蔵庫棟内の荷捌き場で出荷商品を積んだ水槽器を、被災者と同僚が手押し作業中、後方から走行してきたリーチフォークのフォーク先端部が、誤って被災者の右足首部に触れ、被災者が同部に挫傷を負った。	56	6	222	100 ～ 299
49	2017	8	17～ 18	工場内勤務で製造終了後に桃充值コンベアを掃除していた。コンベア裏側が汚れていた為ウエスを使い拭き掃除を行うも稼働部付近で電源を止めずに作業した為、ウエスと右手が巻込まれ被災した。10日間通院治療を行ったが皮膚の状況が悪く医大で治療となった。	21	7	224	100 ～ 299
50	2017	8	14～ 15	工場にてとうもろこしの皮むき作業中、皮むき機（ローラー）に右手手袋中指の指先がとられてしまい、自分でとっさに引いた。救急車が来るまで冷蔵庫の氷で冷やすと共に血液止めを行った。	67	7	165	10 ～ 29
				検体を冷蔵庫内の検体置場に持って行こうと冷蔵庫に入ったところ、いつもの場所に検体置場がなかったので、冷蔵庫出入口付近で探していた際に、派遣会社運転のフォークリフトがバッ				100

51	2017	7	9~10	クで冷蔵庫に進入してきて、気付いた時にはフォークリフトが体の右側に接触し、倒れた時に右足首付近にタイヤが乗り受傷した。	55	6	222	~ 299
52	2017	7	11~12	工場内の小巻現場と殺菌槽付近（気温27.5度湿度70%）で、半そで、長ズボン、長靴、帽子、マスクで小巻商品のカゴ取り機の不具合のため、手での作業がいつもより煩雑になっており、その作業を続けていたところ、頭がボーっとし、立つのも辛くなり、頭痛もしてきたので早退した。自宅で静養していたが、治らなかった。	42	11	715	50 ~ 99
53	2017	7	8~9	コンベア上の桃の種取り作業時、次工程の蒸気による熱処理の機械入口よりもれでている蒸気で右手首付近をやけどした。種がとれていないものを機械入口付近で入らないように戻そうとしたため。	62	11	165	30 ~ 49
54	2017	7	16~17	重さ20kgのリンゴ原料を開缶後、原料選別台に投入時、手が滑ってしまった。右手で缶を持ち、左手で支えていたため、持ち直した時にはみだしていた金属バリに右手があたり、右小指第二関節と右薬指第二関節付近を切ってしまった。	23	8	611	100 ~ 299
55	2017	7	9~10	会社工場内出荷場にて被災者が伝達のため出荷場に入り机の上に伝票を置きそこから立ち際ろうとふりかえた際、被災者の後ろを移動していたフォークリフトの左後輪に左足甲をふまれ負傷したものである。被災者が後方の確認をせず咄嗟に動きだしたことが原因と思われる。	23	7	222	30 ~ 49
56	2017	7	17~18	当社工場内において、作業終了後に工場内を移動していたところ右太ももに強い痛みを感じた。日頃の作業内容は、漬物製品の日付確認、異物検査、梱包、台車へ積む作業（重量は最大で10kg程度）などで、重量物を扱う作業を行っており、その蓄積から痛みが出たものと思われる。太ももに痛みを感じていた	21	19	611	50 ~ 99

				が、疲労からくるものと思い、病院にはかかっていなかった。 勤務をしたが痛みが続いた。				
57	2017	7	9~10	木造一般住宅（2階建て）建設工事現場で、人力にて2Fの床パネル（865mm×5005mm、249kg）を上階へ荷上げ作業中（荷上げ7名、荷受け4名）上げきれず、体制を整えるため、荷を下ろす際に後方の壁と荷の間に指を挟み、再度動かしたため、指を裂傷した。ベトナム、実習生	50	7	169	50 ~ 99
58	2017	7	11~12	消毒用の塩素を補充するため空のバケツを持って加工場内を歩行している時、床に出ているアンカーにつまずいて転倒し、左ひざを負傷した。	58	2	417	30 ~ 49
59	2017	6	12~13	たくあんの原料である干し大根を、FRP容器に漬替える作業をしている時、その容器に横付けしてある落下防止用の作業台（同じFRP容器に板で上蓋したもの）より飛び降りた際、左足踵を地面に強打し、骨折してしまった。作業台から降りる際は2段階を使用すべきであったが、徹底されていなかった。	67	3	417	100 ~ 299
60	2017	6	10~11	自社漬物棟包装場内において、製造機械を移動させている時、包装機の角と移動させていた製造機械に左手を挟み、受傷したものである。	61	7	169	30 ~ 49
61	2017	6	12~13	加工場にて鶏そぼろをレトルトパウチに充填している時に、パウチ供給部に落下しているパウチがあり、手で取り除こうとした際に機械を停止させずに行ったため、機械に腕を挟まれて裂傷した。	24	7	169	100 ~ 299
62	2017	6	13~14	本社工場内で、本人が野菜の切り込み作業を始めようとして、新品の包丁（カバー付き、刃渡り約20cm）を左手の手の平にのせ、カバー部分を親指で押さえ、右手で包丁本体をカバーから抜いたところ、刃が左手人差し指の内側の第一関節と第二関節の間に当たり、切傷となったものである。	70	8	364	10 ~ 29
				キムチ漬け込み冷蔵庫内にて、グレーチングを外して掃除後、				100

63	2017	6	17～ 18	元に戻す際にグレーチング用の道具を使用せずに右手で元に戻した時、左手中指を挟み受傷した。	62	7	379	～ 299
64	2017	6	14～ 15	Aラインのスライサー後ろのコンベアーのコードに腕が絡まった状態で反転した為、腕を痛めてしまった。	40	19	224	100 ～ 299
65	2017	6	16～ 17	見学者用通路内倉庫の整理整頓中に物を運んでいた際、足元の水に気付かずに踏んでしまい滑った。	59	2	417	100 ～ 299
66	2017	6	15～ 16	前処理室において、白菜切断作業終了後、清掃作業実施時に殺菌洗浄槽の底板を外している時に、本来使用する取っ手を持たずに本体の縁を持っており、いつもとは反対の側から外した際にバランスを崩し、底板と洗浄槽本体の間に指を挟んでしまい、右手中指に力がかかり、圧迫骨折をしてしまった。	38	7	169	50 ～ 99
67	2017	6	10～ 11	生産管理課出荷場にて、マイコロイダーをフォークリフトにて移動中、マイコロイダーがずり落ちそうになったのでハンドリフトで支えたが転倒し、支えていた右腕をマイコロイダーの突起した部分にて5～6cm程裂傷した。その際、右足脛も擦り傷を負った。	42	4	611	100 ～ 299
68	2017	6	15～ 16	当社工場内3号包装機（ペースト製造）において、作業終了後、商品を持って金属探知機の確認を行い、その商品のセイロの所に移動中、ラック取手を跨ぎ（約30cmの高さ）、その際につま先が引っ掛かり転倒した。手に商品を持っていた為そちらをかばい、手の平を床に打った。商品（縦25.7cm、横18.2cm、1個1kg）	59	2	417	100 ～ 299
69	2017	6	17～ 18	当社工場内で袋詰め冷凍野菜の解凍作業中に、約60℃設定のお湯に防熱用のゴム手袋を付け手を入れてもみほぐす作業を行っていたが、継続的に作業することで、指に水疱が出来、水	67	11	379	100 ～ 299

				疱が破れてしまった。爪さきの変色も見られた。				
70	2017	6	3~4	冷凍工場内において、清掃及び翌日準備のため、3名にて作業していたが、終了したので工場内の電灯を他2名に消灯する旨を確認後、消灯したところ、被災者が暗い場所におり、その中で移動したために床に置いてあった鉄製リング（高さ10cm程度）に躓き、膝をついた際に鉄製リングに強打し負傷してしまった。	49	2	417	300 ~ 499
71	2017	5	11~ 12	工場より外へ容器バットを運ぶ際、足洗バットに躓き転倒し、正面の階段の縁で頭部を打撲した。	66	2	911	10 ~ 29
72	2017	5	16~ 17	漬物製造室で漬物の袋詰作業中、選別されラインからはじかれた袋詰を回収するため、左手側検査場所方向に歩を進めたところ、右足が足マット（ウレタン製畳1/6サイズ、厚さ3cm防寒疲労軽減用）に躓き引っ掛かり、バランスを崩し両ひざをつき転倒した。その際に左足を不規則について捻じったため、その衝撃で左足足首（くるぶしの上）を骨折した。	63	2	417	10 ~ 29
73	2017	5	11~ 12	真空包装後の袋の中身を均一にする作業中、整形機械に袋を押し込む際、モーター近くの袋端を挟んで入れた時ゴム手袋、ゴム製の腕抜きをしている作業である為、袋ごと指・手・腕を挟まれてしまった。	34	7	163	10 ~ 29
74	2017	4	11~ 12	茶業センターパッケージ室の資材置き場で小売茶を入れるダンボールを取る時、脚立を用い積んであるダンボールの上に登り、ダンボールを下におろして積んであるダンボールから降りようとして、脚立を踏み外して転落してしまい頭部と腰部を打撲した。	61	1	371	10 ~ 29
75	2017	4	15~ 16	村道にて竹林搬出道路伐採作業中に、台風通過後の竹が倒れ、乱れた環境で竹が村道に倒れ乱れており、笹の葉が腐葉土となり足場が不安定だった。台風通過後で村道に竹が倒れている状況で、村道に倒れている竹を伐採中に背後から別作業者の車が	77	2	719	1~ 9

				通過した際に、伐採した竹を踏む音に驚き、振り向いた時によるめき倒れ、右手首をついて骨折した。				
76	2017	4	10～ 11	工場内での栗の製造工程において、製品の整形機のベルトに汚れをみつけたのでタオルで拭きとろうとした際、機械を止めずに行ったためタオルが機械に巻きこまれ、慌てて取ろうとしたときに自分の右手をローラーに巻き込んだ。	67	7	165	50 ～ 99
77	2017	4	9～ 10	製造現場でフルーツの1号缶のフタを電動缶切機で開けた時、金属粉が落ちる可能性があるためその金属粉を除去しようと8000ガウスの棒状マグネットを自分の右側に置いてあったカゴの中から取り、フルーツの中をかきまぜて、元のカゴの中へ自分の感覚でカゴの中を確認せずに戻した。取った時にはなかった柄の付いたマグネットがカゴの中に入っていることに気づかず、置いた瞬間に引き合い、間に右中指を挟まれて負傷した。	45	7	364	100 ～ 299
78	2017	4	11～ 12	本社工場包装室にて歩いていたところ、床で滑り前方へ転倒し、足首を捻り骨折した。	59	2	418	100 ～ 299
79	2017	4	10～ 11	漬物の製造および漬け込み作業をしていた際に、大ザルを洗浄しに行こうと体の向きを変えた所後ろに置いてあった水の入ったポリダル（高さ7cm程度）に体がぶつかり、バランスを崩し、足を滑らせて転倒した。その後、右腕に激痛が走り、起き上がることが出来なかった。	61	2	417	50 ～ 99
80	2017	4	12～ 13	わさび茎を洗浄する機械（幅1.2m長さ4m高さ0.8m）の角型水槽で、ステンレス棒にビニールの管（熊手の様な形）が付いた搬送コンベヤーでわさび茎を洗い洗浄する。作業が終わり、水槽の水を排出し始め、機械の清掃を始めたとき、搬送コンベヤーは動いていた。水槽内の底の隅の方に残っていたわさび茎を前屈みになって取ろうとしたところ、回転している搬送コンベヤーと固定されている駆動軸の間に左腕を巻きこまれた。	29	7	165	30 ～ 49

81	2017	4	16~ 17	包装室新設EFラインコンベアの清掃中、コンベアに設置した均しローラーの近くで清掃したため、右手の肘までローラーに巻き込まれてしまった。	64	7	224	100 ~ 299
82	2017	3	9~10	被災者は漬け物工場で、加工した製品の入ったプラスチック製の籠（重さ40kg~50kg）を台車にのせようとし、床から持ち上げた際に腰部に激痛が生じた。	29	19	611	1~ 9
83	2017	3	17~18	原料受入室にて、工場で使用する原料（さつまいも）の皮を剥ぐピーラーを清掃中、爪にはまった原料を取り除く為、高所で背がとどかないのでコンテナを二段積みにして作業していたところ、乗っていたコンテナが滑り、足場が崩れて後ろに転倒し、下にあったコンテナに腰を強打した。	58	1	371	10 ~ 29
84	2017	3	9~10	重石を2つ持ちあげた際に腰に違和感があった。その翌日、約20kgの塩袋を持ち上げて小樽に移そうとした際、再度痛みが出た。	37	19	611	50 ~ 99
85	2017	3	17~18	工場内原料加工室で清掃作業中、薬液の補充を行っている際に、誤って薬液のタンクを落下させてしまい、そのしぶきが目に入り、化学損傷による左目角膜炎となった。	34	12	514	30 ~ 49
86	2017	3	16~17	当社工場内で掃除している時に、機械（スライサー）に大根が挟まっており、機械を止めて、取り除かないといけなかったところを機械を止めずに大根を取り除いた為、右中指の先を切った。	35	8	165	50 ~ 99
87	2017	3	9~10	派遣労働者として勤務していた被災者が、下処理場にて生姜のすりおろし作業中、すりおろし器のスイッチが入っているのを確認したが、作動しなかったため、材料が詰まっていると思い、確認しようとしたら突然動き始め、触れていた右手が回転部に触れて示指と中指を受傷した。	45	7	165	100 ~ 299
88	2017	3	16~17	本社工場下漬室に於いて清掃作業中、白菜4つ割機をホースを使用し水洗いしていたところ、刃の部分に右手人差し指があたり	22	8	169	100 ~

				負傷した。				299
89	2017	3	9~10	作業所内でキムチの攪拌が終わって、バットにキムチを入れ終わったので、機械を止めるように言ったつもりだったが、声が小さかったのか相手に伝わっておらず、自分は止まると思い込んでしまって、少し残っているものをとろうとして機械に巻きこまれて、右腕を骨折し、指のつけ根を切った。	65	7	165	1~ 9
90	2017	3	17~18	作業終了後にプレス機の洗浄をしている時、左手をプレス機の上に置いてスイッチを入れたことにより上下に動き、手の甲を切ってしまった。	36	7	165	30 ~ 49
91	2017	3	8~9	2階の更衣室で作業着に着替えたあと、1階の作業場に向かう階段（1階の下から3段目高さ約60cm）でつまずき、1階の床に自分の体の左肩付近から転倒した。	62	1	413	10 ~ 29
92	2017	3	11~12	当社工場包装室において、被災者が大ざるにのった沢庵を白いコンテナへ移す作業をしていたところ手が滑り、左手の小指を大ざるに引っ掛けてしまい、指の間が裂けるほど大きく広がってしまい、神経を負傷した。	46	8	379	30 ~ 49
93	2017	3	10~11	原料処理ドームにて、コーンカッターの刃を砥ぐ機械の整備が終わり、3名で移動させようと3方に分かれ持ち上げようとしたところ、腰に激痛がはしり、腰椎圧迫骨折を負った。	62	19	612	50 ~ 99
94	2017	2	11~12	会社敷地内にて、芋の搬入作業中、パレットを取りに行ったところ、コンクリート地面に2~3cm程の隆起があり足が躓いた。そのまま前方向に倒れ、両手を地面につき左掌を負傷した。	53	2	417	10 ~ 29
95	2017	2	16~17	本社南工場で仮詰の栗の一斗缶を開缶作業中、手が滑って足の上に一斗缶を落とした。	32	4	611	100 ~ 299
				包装工場内で小袋製品の包装作業時、計量したきゅうりをお椀付コンベアのお椀に乗せている時にきゅうりがお椀からコンベ				50

96	2017	2	11~12	ア上に落下した為に拾い上げようとして手を出したところ、お椀付コンベアのお椀が付いているステンレス板とガードの部分に指の先が挟まれた。	53	7	224	~ 99
97	2017	2	9~10	容器にお湯を入れようとホースを引っ張った際、ホースが足に絡まり転倒しそうになったため踏ん張って右足を床に着いたところ、足指を受傷した。	48	3	379	~ 99
98	2017	2	7~8	歩行中に、床についている高さ7、8cm位のパイプに躓いて前に倒れた時に、左膝を床にぶつけ負傷したものである。	59	2	417	30 ~ 49
99	2017	2	12~13	生産1課搬出口より電動リフトにて製品を搬出後、製品パレットからリフトを引き出す際、レバーを強く引いた為、右足にあたり、リフトがバックする力でつま先が曲がり、右足薬指を骨折した。	49	7	362	50 ~ 99
100	2017	2	8~9	味噌の仕込み工場内で、ベルトコンベアーを使い、塩をストックカーに入れる作業中、塩が滑らないように、濡らしたタオルをベルトにつけたところ、タオルがローラーに巻きついて、ローラーを止めないまま、タオルを引っ張って取ろうとした時、ローラーとベルトの間に指を挟まれてしまった。	57	7	121	1~ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。